

実務経験のある教員等による授業科目一覧（診療放射線学科）

対象 学科	科目名	担当教員	担当教員の主な 実務経験	授業内容
診療放射線学科	X線撮影技術学 I	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	単純 X 線検査の理論、X 線機器の特性・撮影法・診断技術を学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	基礎画像読影学	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	画像から疾患の特徴や有効な画像検査の種類・診断法を演習形式で学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	総合放射線工学実験	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	放射線診療機器の品質管理・品質保証の重要性・目的を、実験を行いながら学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	断層検査技術学	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	X 線 CT、MRI 検査の最適な検査方法、病変に見え方を技術的な側面から学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	断層検査技術学演習	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	X 線 CT、MRI、超音波、SPECT 等の各種断層画像と疾患の見え方について演習形式で学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	放射線科学特別講義	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	診療放射線技師が関わる画像診断等の診療行為、放射線管理、診療機器管理等を総合的に学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	放射線計測学	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	放射線の基本性質と放射線計測器の原理から最適な放射線測定の方法、測定値の処理を学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	放射線治療技術学 I	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	放射線治療に関わる吸収線量、線量分布等の測定法や各種係数の意味を学修し、より実践的な放射線治療技術である放射線治療技術学 II の基礎固めを行う。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（診療放射線学科）

診療放射線学科	放射線計測学実験	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	X線 CT 検査による患者被ばく線量の測定方法の原理および実際の測定結果より被ばく低減方法を学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	放射線治療技術学Ⅱ	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	疾患ごとに様々な照射方法による最適な線量分布の形成方法や投与線量、分割照射法等、実践的な放射線治療技術を学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	放射線保健管理学	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	医療以外の放射線の利用方法も含め、放射線の有効利用法、被ばくによる人体への影響から管理の目的・方法を学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床実習Ⅱ	橘 昌幸	診療放射線技師として大学病院勤務 (1990～2010)	「診療画像技術学」、「核医学検査技術学」、「放射線治療技術学」の各分野で学んだ知識と技術をカンファレンス形式で学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的なカンファレンスを展開している。</u>
	核医学機器学	大倉 保彦	診療放射線技師として病院勤務 (1989～1998)	核医学検査機器について装置の構成、動作原理、機能、物理特性、性能評価および維持管理について学び、さらに核医学画像の基本的特性、画像形成過程における諸特性とその出力画像との関連性について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	X線撮影技術学Ⅱ	大倉 保彦	診療放射線技師として病院勤務 (1989～1998)	診療放射線技師に必要とされるX線造影撮影技術について学ぶ。加えて、歯科X線撮影法、骨塩定量法および眼底検査法について学ぶ。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	薬理学	大倉 保彦	診療放射線技師として病院勤務 (1989～1998)	医療で使用される放射性医薬品と造影剤の基礎知識（種類、体内動態、副作用など）を学修し、これらの医薬品を人体に有効かつ安全に使用し得る能力を培うことを目的とする。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（診療放射線学科）

診療放射線学科	核医学技術学	大倉 保彦	診療放射線技師として病院勤務 (1989～1998)	核医学検査の理論、機序ならびに放射線核種を用いた検査・診断技術、体外測定と試料測定についてデータ収集、処理、表示法などの装置と技術を学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	核医学	大倉 保彦	診療放射線技師として病院勤務 (1989～1998)	臨床核医学検査に関する知識を修得する。各検査について、放射性医薬品、投与量、前処置、副作用、適応疾患、臨床的意義および核医学治療について学修する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医用画像情報システム論	大倉 保彦	診療放射線技師として病院勤務 (1989～1998)	デジタル画像を医療の中で役立てるには、コンピュータに関する基礎知識、またコンピュータネットワークによる医用画像の伝送、表示装置による表示、医用画像データの保管に関して幅広い見識を有し、医用画像システムを構築し管理する能力が重要であり、近年診療放射線技師はこの分野での活躍が期待されている。本講義では、この分野に関する基礎的知識の修得を目的とする。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床実習Ⅱ	大倉 保彦	診療放射線技師として病院勤務 (1989～1998)	「臨床実習Ⅰ」に続く実習であり、「診療画像技術学」、「核医学検査技術学」、「放射線治療技術学」の各分野で学んだ知識と技術を臨床の場での体験を通して統合し、診療放射線技師としての確かな技術と実践的な対応力を身につけることを目的とする。更に将来への展望を示し、患者接遇、医療安全、医療倫理の実践を学ぶ。更に放射線を用いた検査・診断・治療技術上の問題解決能力を涵養する。 <u>病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	X 線撮影技術学Ⅱ	井上 聖	診療放射線技師として大学病院勤務 (2003～2011)	歯科撮影・骨塩定量検査・眼底検査における診断機器の特性・撮影法・診断技術を学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>

実務経験のある教員等による授業科目一覧（診療放射線学科）

診療放射線学科	医用画像工学Ⅰ	井上 聖	診療放射線技師として大学病院勤務 (2003～2011)	医用デジタル画像を中心とした画質の定量評価法および主観評価法を学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	医用画像工学Ⅱ	井上 聖	診療放射線技師として大学病院勤務 (2003～2011)	放射線画像の形成・デジタル画像処理の基礎技術・医療に活用されている画像処理技術を学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	画像処理工学Ⅰ	井上 聖	診療放射線技師として大学病院勤務 (2003～2011)	放射線画像の形成・デジタル画像処理の基礎技術・医療に活用されている画像処理技術を演習形式で学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	画像処理工学Ⅱ	井上 聖	診療放射線技師として大学病院勤務 (2003～2011)	放射線画像の形成・デジタル画像処理の基礎技術・医療に活用されている画像処理技術を演習形式で学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	基礎画像読影学	井上 聖	診療放射線技師として大学病院勤務 (2003～2011)	画像から疾患の特徴や有効な画像検査の種類・診断法を演習形式で学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	放射線計測学実験	井上 聖	診療放射線技師として大学病院勤務 (2003～2011)	放射線の性質と検出器の仕組みを学修する。一般X線撮影領域では電離箱線量計による患者被ばく線量の測定法と評価法、被ばく低減方法を学修する。 <u>大学病院での勤務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床実習Ⅱ	井上 聖	診療放射線技師として大学病院勤務 (2003～2011)	「診療画像技術学」、「各医学検査技術学」、「放射線治療技術学」の各分野で学んだ知識と技術をカンファレンス形式学修する

実務経験のある教員等による授業科目一覧（診療放射線学科）

診療放射線学科	救急医療	前田 浩志	診療放射線技師として病院勤務 (1998-2000) 日本赤十字社救急法指導員 (2016-現在)	放射化学で用いられる基本的実験器具の取扱い法、試薬・放射性医薬品の分注手技並びにクロマトグラフィ法による放射化学的純度の測定手法について、実験をおこないながら基本的操作が間違いなく行えるよう修得する。 <u>病院での実務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	放射化学実験	前田 浩志	診療放射線技師として病院勤務 (1998-2000)	放射化学で用いられる基本的実験器具の取扱い法、試薬・放射性医薬品の分注手技並びにクロマトグラフィ法による放射化学的純度の測定手法について、実験をおこないながら基本的操作が間違いなく行えるよう修得する。 <u>病院での実務経験を活かし、より実践的な授業を展開している。</u>
	臨床実習Ⅱ	前田 浩志	診療放射線技師として病院勤務 (1998-2000)	実際の医療現場での実習を行い、診療放射線技師としての基本的知識を確認し、必要な技能の修得とその実技を行う。また、毎週クラス全員でのカンファレンスを行い、最新の医療事情や、知っておくべき重要な検査に関する事項などについて相互に情報交換を行うことで、実習施設間での内容の偏りが生じにくいよう工夫している。 <u>病院での実務経験を活かし、より実践的な内容で、また広範な修得範囲を網羅できる授業を展開している。</u>
	教育学	岡田大爾	高校勤務 (1985~1986) 中学校勤務 (1986~2005)	<ul style="list-style-type: none"> ・ゆとり教育論や学力論、評価等について多くの誤解がある中で、諸外国の例も含めてわかりやすく解説する。 ・自分自身の「教育」経験の範囲を超えて、現代の「教育」が抱え込んでいる様々な問題の解決方法を考える。 ・教育現場及び家庭や社会における諸課題に対応するため、将来の子育てにも役立つように実践的に考察する。